



たくさんの人と思いがつながって…



生ごみリサイクル・ダンボールコンポストキット

「ダンボちゃん」誕生までのお話

NPO 法人あしたや共働企画 理事 長尾 すみ江

✂ NPO 法人あしたや共働企画の活動

私たちは「地域の中にハンディを持つ者も持たない者も、共に働く場を創りたい」と願って 1999 年に『あしたや共働企画』を設立しました。現在は、その理念の下、3 つの店の運営に当たっています。

多摩市立公民館内の売店「はらっぱ」、多摩市諏訪商店街の「あしたや」、そして今年 5 月に同じ商店街に新規開店した「あしたや・みどり」。

主な販売品は環境にできるだけ配慮した農法で生産している農産物、原材料にこだわって作られた商品、ハンディを持つ方々が作った製

品、適正貿易の理念に基づいたフェアトレード製品などに加え、石けん製品なども扱っている「自然食品と雑貨の店」です。

加えて、地域の方々から不要になった古本をいただいてリサイクル販売もしています。スタート時には数人で始めた事業ですが、現在はハンディがある人もない人も共に 30 名近くが働いています。今では、それぞれ 3 つの店は地域にしっかり根付いてきています。

✂ 『循環型環境施策の市民検討会』について

2010 年 6 月より『循環型環境施策の市民検討会』が発足し、生ごみ・草枝、落葉について市民が随時集まり、多摩市内のごみや循環資源について情報交換や方向性について検討を重ねてきました。

その中で、ダンボールコンポストのキットを独自に作ったらどうか…という話の流れで、あしたや共働企画オリジナルキットを製作することになりました。試作品作りから始まり、参加者から意見やアドバイスをもらい、およその中身を固めていきました。

✂ ダンボールコンポストキット誕生

あしたやを取り巻くネットワークはさまざまですが、なかでも私たちの活動では「生産者と直接つながる」「支援者とつながる」を大切にしてきました。このダンボールコンポストキットを製作するに当たっても、先の市民検討会の方々を始め、特にこの“つながり”が大きな役割を果たしました。

◇ ダンボール箱

適当な大きさのものがなかなか入手できずにいたのですが、静岡のみかんの生産者の紹介で、丈夫で白無地のものを安価で入手することができました。

◇ 基材となる堆肥

NPO たい肥化協会の理事の方の紹介で、八王子の磯沼牧場とつながることができました。ここでは、健康な牛を飼育してカカオ殻やコーヒカスを利用して牛糞完熟堆肥を作っています。それを自分達で篩ふるって使えば、仕事つくりにもつながり、その分、安く提供していただき一石二鳥。

3 月 11 日の東日本大震災による福島第一原発



夏休みの「子ダンボ親子講習会」

事故の影響で、堆肥の放射能汚染も懸念されましたが、検査を受けて安全であることが確認されています。

◇ 基材に混ぜる米糠

あしたやで精米しているのでそれを使用。さらに市内保育園からの引取りも随時あるので、それを使うことにしましたが、念のため、市内のお米屋さんにも足りない時はお願いしておきました。

◇ オリジナルの布キャップ

ダンボールコンポストでの問題はやはり虫の発生ですが、私達はキット用に手作りですっぽり覆いかぶせる方式のキャップを考案しました。何度か試作を重ね、さまざまな柄の素敵な布キャップが完成しました。ここでは日頃より私達の活動を支援してくれている手仕事グループ「ちくちくの会」の協力あってこそでした。この布キャップはお買い上げの方に好きな柄を選んでもらえるので好評です。

さらに、ハンディを持つ働き手にも、箱を組み立てる、基材を混ぜる、布キャップにゴムひもを通す、市内の方に配達する…など多くの仕事を作り出すことができました。今後は出来上がった堆肥の使い道のない方からの回収作業もありそうです。私達は二つの畑での作業もしているのです。堆肥は大いに活用できます。

ダンボールコンポストキット

「ダンボちゃん」発売開始!

そして「子ダンボ」も続いて販売!

こうしてできあがったセットは2011年1月より発売を始めました。キット内容は上の写真の通り。

さらに2011年7月には、子どもたち向けの小型のダンボールコンポストキット「子ダンボ」を発売しました。こちらには温度計をセットして、生ごみが分解される過程で発生する熱を測ってもらうなど、夏休みの自由研究にもぴったりのキッズキットとなりました。価格はセット価格で1,050円。



*使い方の詳しいリーフレット付

*多摩市の購入補助(半額)が適用されます

■セット価格 2,500円 (配達・回収を含む)

エピソードもいくつか...

たくさんのつながりでできあがったオリジナルコンポストですが、さらにうれしく励みになるようなエピソードも生まれました。

4月の初めに千葉県花見川区の方から「1セット、発送して欲しい」と電話があり、詳しく伺ったところ、福島県南相馬でこの大震災にあい被災をされた方からでした。それまでは畑のある暮らしで生ごみの処分には困らなかったそうですが、初めて団地で仮暮らしを始めたら「この生ごみをどうしよう…」と途方にくれたとのこと。大変な状況の中、インターネットで検索して、よくぞあしたやのキットにたどり着いてくれました!!

さらに、この被災された方は、あしたやの者とともに磯沼牧場まで出向き、ボランティアで堆肥篩いをしてくれました。1日も早く元のように畑作業ができる日が来ることを願っています。

アフターフォローが大切

お買い上げくださった方々が続けていってくれることが、なにより大事だと考えています。実際にやってみるといろいろな問題にも突き当たるかと思いますが、そんな時、気軽に「あしたや」に連絡してくれるようにお知らせしていますし、時を見て店頭での相談会も企画しています。

連絡先: NPO 法人あしたや共働企画

多摩市諏訪5-6-2-102

042-376-1465 理事: 長尾すみ江